



カマチグループロゴマークの デザインコンセプト

カマチグループのロゴマークは、「K」の文字を元に、大地にそびえるタワー（信念）に、はばたく鳥（結果）が寄ってくるイメージをデザインしました。

また「K」を取り巻く「円」は、大地や基盤をあらわし、人と人との輪（和）をイメージしています。

人と人との和を基盤にした地域に貢献できる医療従事者を目指すという思いを込めています。

2024

Comprehensive Brochure of

Kamachi Group



カマチグループ 総合パンフレット

■ カマチグループ

- 社会医療法人財団池友会
- 一般社団法人巨樹の会
- 社会医療法人社団東京巨樹の会
- 社会医療法人社団埼玉巨樹の会
- 医療法人社団巨樹の会
- 医療法人社団銀緑会
- 学校法人巨樹の会



地域社会に貢献する医療を目指して。

全国規模の医療プロ集団。
 健診、周産期から急性期、リハビリまで総合的にサポート。
 チーム医療で地域社会へ貢献していきます。



カマチグループ創設者・CEO

蒲池眞澄が語る、医療への思い。

昭和49年、19床でスタートした下関カマチ医院から50年。

カマチグループは病院25、診療所3、大学1、専門学校5、助産院1を運営する

医療法人として成長してきました。

回復期リハビリテーション医療にも一層力を入れ、

地域医療にとどまらず「大和民族のための医療」を目指し、最善の努力を続けます。

24歳で医師になってから、医師として大概の事はできるようになり、「自分のところに来た患者さんは何が何でも治す!」という気概でやってきた救急医療でありました。

私は下関カマチ医院を開院した時から「厚生省の政策を10年先取りして動かなければ」と考えてきました。小文字病院を開院した当時、救急対応をしていた病院は、当院とあと一つくらいで、普通に治療をすれば助かる患者さんが手遅れで亡くなっていました。これは国内で交通事故に遭えば、ベトナム戦争よりも死亡率が高かったことになります。

他の病院が受け入れない患者さんを当院の技術と医学知識で治療し、全体をレベルアップさせてきました。その結果、福岡・北九州の医療現場から「クライ回し」をなくしたのです。

そして当時、私より15歳年下の若いセラピストが、救急の治療後すぐに適切なリハビリを行えば、回復が早い事を実例で示してくれました。彼

が手術後の患者さんにリハビリを施すと、予後が違った。まだ早期のリハビリはいけないとされていた時代でしたが、リハビリは効くと思い、積極的に取り入れてきました。その結果、早期退院が可能となり、病床の回転率が上がるという好循環な結果になりました。

とにかく患者さんのために役立つ医療を行わなければならない。そのためにどのような医療を行えばいいかということは、「シンプル アンド ロジカル」です。

必要なことは必要な時期にすぐに実行する。患者さんが「痛い」と言えばすぐに痛みを取ってあげる。「苦しい」と言われたらすぐに和らげてあげる。「死にたくない」と言われたら命が長らえるようにできるだけ努力をする。それは病院運営でも同じことです。

マーケティングを行いニーズがあるところに病院を作っていた結果、病院が増えました。だんだん病院が増えてくると、看護師やセラピスト集め

が大変と言われる。ならば、養成校を自前で持つておけばいいのではないか。それがカマチグループの施策の一つです。

もう一つ心に留めている言葉が「伝統は与えられるものにあらず 作るもの也」。

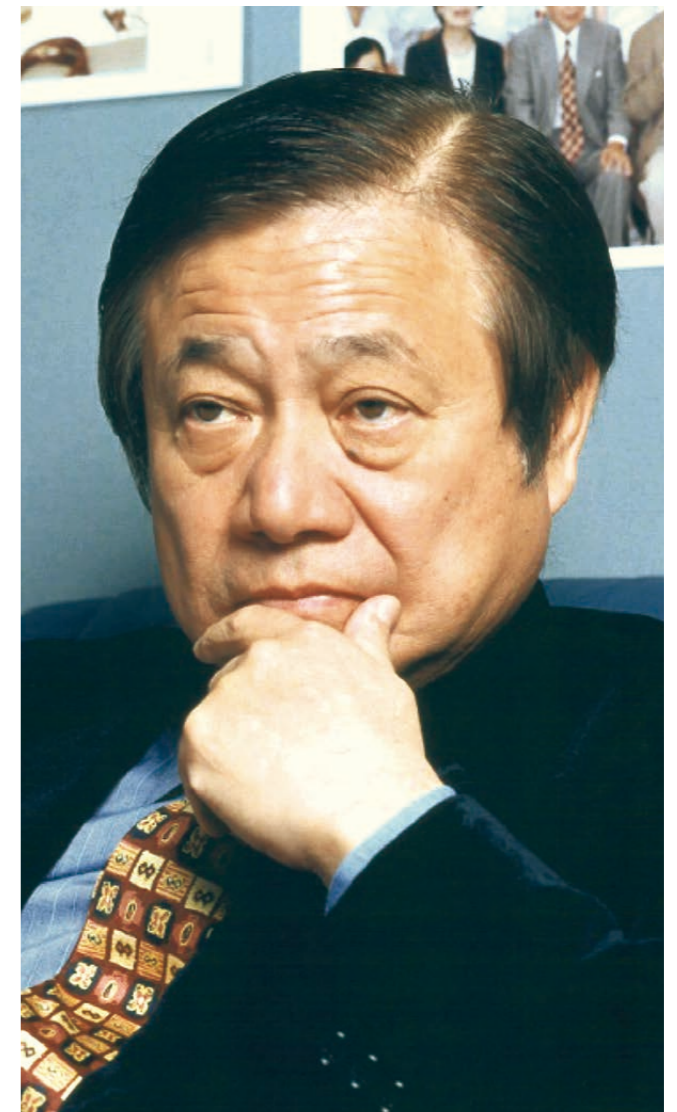
こうしてグループが発展した土台には、基礎を築いた人物や出来事など歴史がありました。それらがあったから今があるのです。またその歴史に伝統という色づけを皆でしてきた。その伝統は、もっと良くしたいという思いから生まれたものです。

もっと素晴らしい病院にするために、毎日毎日の手、顔、心が伝統になると思っています。これからのいい伝統を作り続けていきたいと考えています。

そして、若いスタッフが大勢いるのもポイントの一つ。彼らの「何としてでも患者さんを治す!」という心意気は、グループの大きな原動力です。

また回復期のリハビリテーションは、患者さんに生きる希望を見出し、人間として生きるための尊厳を回復することが使命です。救急医療によって命を助け、退院後のQOLを高めるためにリハビリテーションを行い、できるだけ早く元気になって自宅や職場に復帰していただくこと。それが結果として日本を元気にしていく。グループ内のどの病院も地域医療だけにとどまらず「大和民族のための医療」を行っています。それがカマチグループの役割だと考えています。

これまでもこれからも、人類の生命がある限り、カマチグループは医療界のプロ集団として邁進してまいります。



蒲池 眞澄 (かまち ますみ)

カマチグループ創設者・CEO、社会医療法人財団池友会 理事、一般社団法人巨樹の会 会長、社会医療法人社団東京巨樹の会 理事、社会医療法人社団埼玉巨樹の会 理事、医療法人社団巨樹の会 理事、医療法人社団銀緑会 理事、学校法人巨樹の会 理事長

昭和15年、福岡県八女郡黒木町生まれ。蒲池家は江戸中期から医師で9代目。

九州大学医学部卒。虎の門病院、九州大学大学院医学研究科、下関市立中央病院、福岡大学医学部を経て昭和49年、下関市で救急指定の下関カマチ病院を開院し独立。昭和56年北九州市小倉北区に小文字病院、昭和62年、福岡和白病院を開設し院長に就任後、平成15年から会長に就任。以後、各法人の理事長をはじめ理事等に就任。

我々の回復期リハビリテーション医療における 展望と連携強化について

(地域包括ケアシステムの中の回復期リハビリテーション医療へ)

昭和49年に山口県下関市にカマチ医院を開
設以来、グループ創設者の蒲池眞澄と一緒に
「患者を助ける、治す」という救急医療に真正面
から取り組んで参りました。

レベルの高い救命救急医療を目指し、心臓血
管外科、脳神経外科等を備える高度医療のでき
る病院として北部九州を中心に前進してきた病
院グループです。

ところが当時、術後1週間は絶対安静が普通
だと言われていた頃で、安静が続けていたら体
に拘縮が始まり、寝たきりになってしまう、とい
う事が起こっていました。

そして、そういう患者が集められ、当時の老人
病院は運営されていました。

我々のグループは寝たきりを作らない、自宅復
帰を目指す、そのためには早期のリハビリテーシ
ョンの介入が必要だということ認識し、何処よりも
早くリハビリテーションの実践に取り組んで参り
ました。

今でこそ当たり前のようになっていますが、術
後当日からでも可能な範囲で歩行させるという超
早期リハビリテーションの実践が我々のリハビリ
テーションに対する基本となり、今日の回復期リ
ハビリテーション病院の根底にあります。

さて、我々の回復期リハビリテーション病院に
おいては、日本全国でもトップクラスのレベルを
持っていると思っていますが、これからの時代
は、社会問題となっている後期高齢者の増加だ
けでなく、国が推進している地域包括ケアシス
テムにおいて在宅復帰強化病院の役割を担って
いくため、多種多様な患者さまに適応できる病
院づくりが必要となって参ります。



一般社団法人巨樹の会 代表理事

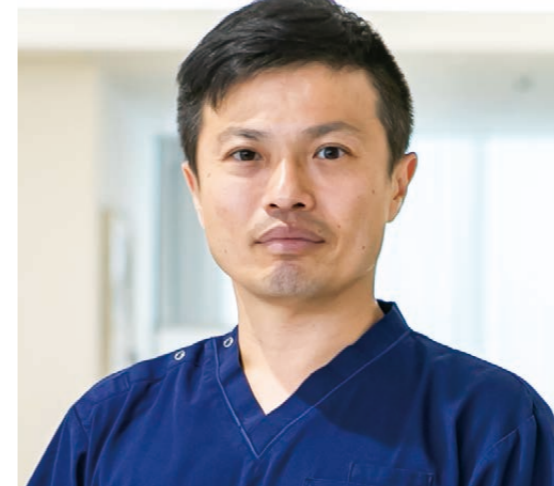
鶴崎 直邦

そのためには、選ばれる回復期リハビリテー
ション病院としての実績作りと同時に、急性期病
院をはじめとして在宅復帰支援施設、居宅介護
支援事業所等との緊密な医療連携を通じて
様々な意見を参考に、将来に向けた構築が必要
不可欠となります。

今後とも皆さまのご支援とご協力のほど宜しく
お願い致します。

末筆にあたり、当グループの理念である「手
には技術、頭には知識、患者さまには愛を」のもと、
生命の尊厳に対する気持ちを忘れず、一人ひと
りの患者さまを大切にする医療を心がけて、一
人でも多くの患者さまが「住み慣れた地域で自分
らしく生活できるようになる」といった期待に応え
べく邁進していきたいと思っております。

職員一人ひとりの教育を大切にし、様々な事象 に対応できる医療チームを目指します。



社会医療法人社団東京巨樹の会理事長
社会医療法人社団東京巨樹の会東京品川病院院長

蒲池 健一

カマチグループは2024年に50周年を迎えま
した。24時間対応する急性期総合病院、発症後
早期からの回復期リハビリテーション病院。共に
連携しチーム医療をシームレスに行い、患者さん
の身体的、精神的苦痛の治療、緩和を積極的に
行う病院がカマチグループの根幹となっていま
す。50年間断らない救急医療を実践し、知識と
技術、ノウハウを積み重ね、また時代の流れに沿
うように早期からリハビリテーションを実施しセラ
ピストの職員数は日本トップクラスとなりました。

がん治療においては手術支援ロボット“ダヴィン
チ”を4台、放射線治療装置を3台新規導入(計
5台)で稼働しており、抗がん剤治療も含めて患
者さんに合ったより良いがん治療を行っています。

また日本において脳神経外科医は減少傾向
にある中、当グループでは増加の一途をたどり、
現在50名近い常勤専門医が在籍しています。
脳血管治療専門医数も毎年増えており、多くの
地域で専門的な脳卒中治療を行っています。そ

して治療当日から看護師による献身的なケア、セ
ラピストによるリハビリテーションを行い、早期社会
復帰に尽力しています。

病院の役割は未知の感染症や自然災害への
対応も含まれています。特に令和2(2020)年か
らの新型コロナウイルス感染症では、グループ全体
で4年間に発熱外来79,386名、入院7,178名の
受入れを行いました。救急車においてはコロナも
含めて161,632台の搬入を行いました。軽症の患
者さんがたらい回しにならないよう積極的に受け
入れ、重症患者さんには高度救命治療を施行、
そしてアフターコロナの患者さんをグループのリ
ハビリ病院で受入れることで早期の社会復帰に貢
献してまいりました。災害拠点病院の取得、
DMAT隊の編成も行っており、有事の際にも対
応できるよう備えています。

さらに少子高齢化の影響で、独居や身寄りが
いない、金銭的困窮など様々な背景因子を抱え
ている患者さんの問題をどう解決していくか…
令和の医療従事者に求められる内容は大きく
そして多様化しています。カマチグループはその
ような様々な事象に対応し、職員一人ひとりが患
者さんのためになるような【generalist】であり
【specialist】であることを、教育を通じて伝え地
域に求められるような医療チームを目指しています。

また平成2(1990)年に福岡看護専門学校を
開校して以来、現在まで当グループの専門学校
7校で計17,000名の看護師、助産師、理学療法
士、作業療法士の育成を行ってきました。そして
令和4(2022)年には令和健康科学大学を開
学、今後も社会を支える人財を育てていきます。

病気で困っている患者さんを治療し喜んで
もらう、カマチグループがあつて良かったと思っ
てもらえるよう、これからも努力して参ります。

沿革

昭和49年(1974年)	当時不毛であった救急医療に取り組むため 下関カマチ医院 開院 (急性期 19床、後に79床)
昭和53年(1978年)	特定医療法人財団(現・社会医療法人財団)池友会を創設。
昭和56年(1981年)	小文字病院 開院 (現・新小文字病院 急性期 214床)
昭和58年(1983年)	下関カマチ医院を下関第一病院と改称。
昭和62年(1987年)	和白病院 開院 (現・福岡和白病院 急性期・回復期・ICU・HCU含む 369床)
平成2年(1990年)	学校法人福岡保健学院(現・学校法人巨樹の会) 設立許可、 福岡看護専門学校 開設
平成9年(1997年)	新行橋病院 開院 (現・急性期・回復期・ICU・HCU含む 246床) 和白病院を福岡和白病院に改称
平成12年(2000年)	新行橋病院 新築移転
平成13年(2001年)	下関第一病院を下関リハビリテーション病院と改称(現・回復期 165床)
平成15年(2003年)	福岡新水巻病院 開院 (現・急性期 227床) 香椎丘リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 120床)
平成16年(2004年)	福岡和白PET画像診断クリニック 開院 小倉リハビリテーション学院 開設 下関リハビリテーション学院 (現・下関看護リハビリテーション学校) 開設 八千代リハビリテーション学院 開設
平成17年(2005年)	福岡和白病院 新築移転 福岡和白総合健診クリニック 開院
平成18年(2006年)	八千代リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 240床)
平成19年(2007年)	福岡和白リハビリテーション学院 開設
平成20年(2008年)	社団法人下関診療協会を社団法人巨樹の会(現・一般社団法人巨樹の会)と改称 小文字病院を新築移転し、新小文字病院と改称 福岡看護専門学校水巻校 (現・福岡看護助産学校) 開設
平成21年(2009年)	所沢明生病院 開院 (急性期 50床) 明生リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 120床) 新上三川病院 開院 (急性期・回復期 209床) 福岡看護専門学校 新校舎移転
平成22年(2010年)	特定医療法人財団池友会から社会医療法人財団池友会へ法人変更 新武雄病院 開院 (現・急性期・回復期・ICU・HCU含む 195床) みどり野リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 136床) 下関リハビリテーション学院に看護学科を開設し、下関看護リハビリテーション学校に学校名変更 みずまき助産院ひだまりの家 開院
平成23年(2011年)	蒲田リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 180床) 宇都宮リハビリテーション病院 開院 (回復期 96床) 新武雄病院 新築移転 武雄看護リハビリテーション学校 開設 福岡看護専門学校水巻校に助産学科を開設し、福岡水巻看護助産学校に学校名変更
平成24年(2012年)	小金井リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 220床)

平成25年(2013年)	社団法人巨樹の会から一般社団法人巨樹の会へ法人変更 赤羽リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 240床)
平成26年(2014年)	松戸リハビリテーション病院 開院 (回復期 180床) 千葉みなとりリハビリテーション病院 開院 (現・回復期 180床)
平成27年(2015年)	原宿リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 332床) 五反田リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 240床)
平成28年(2016年)	新久喜総合病院 開院 (現・急性期・回復期・ICU含む 391床)
平成29年(2017年)	江東リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 300床) 医療法人社団埼玉巨樹の会を創設
平成30年(2018年)	東京品川病院 開院 (現・急性期・回復期・HCU含む 440床)
平成31年(2019年)	医療法人社団緑野会から医療法人社団東京巨樹の会へ名称変更
令和元年(2019年)	狭山中央病院 開院 (急性期 85床／療養 26床)
令和2年(2020年)	第2宇都宮(現・新宇都宮)リハビリテーション病院 開院 (現・回復期 240床) 学校法人福岡保健学院から学校法人巨樹の会に法人名変更
令和3年(2021年)	医療法人社団埼玉巨樹の会から社会医療法人社団埼玉巨樹の会へ法人名改称 医療法人社団神奈川巨樹の会を設立
令和4年(2022年)	令和健康科学大学 開設 医療法人社団東京巨樹の会から社会医療法人社団東京巨樹の会へ法人名改称 医療法人社団神奈川巨樹の会を医療法人社団銀緑会へ法人名改称 新宇都宮リハビリテーション病院 新築移転開院
令和5年(2023年)	医療法人社団巨樹の会設立 青山リハビリテーション病院開院 (回復期 50床) よしき銀座クリニック開院 所沢明生病院と狭山中央病院が合併し、 所沢美原総合病院 開院 (急性期・ICU・HCU含む 221床) 福岡看護専門学校、福岡和白リハビリテーション学院が令和健康科学大学開設に伴い閉校

2024年4月1日現在



当グループ病院の特徴

急性期病院

24時間365日、
高度で専門的な医療を
提供する



急性疾患や慢性疾患の急性増悪などで緊急・重症な状態にある患者さまに対して、入院・手術・検査など高度で専門的な医療を提供する病院の事です。重篤な状態や緊急手術が必要な症状で搬送されるなど、予断を許さない場合もあるため、ICU(特定集中治療室)等や高度な医療機器を備えていることはもちろん、24時間365日最善の対応ができるよう、体制を整えています。

また当グループの急性期病院では、一部で既にDPC制度(急性期入院医療に係る診断群分類別包括評価)

の病院に移行しており、機能を評価する指数である機能評価機能係数IIが全国でも総じて高く、1,500病院以上ある対象病院中、上位となっています。

できる限り多くの患者さまを受入れるため、地域の医療機関等との相互紹介の割合も多く、平均的な入院日数(平均在院日数)が全国平均と比べ短いこと、また医療機器の更新を早いサイクルで行っていることも当グループの特徴です。

回復期病院

回復期リハビリテーション
病院では、
日本最大規模のグループ



脳血管障害や骨折の手術など急性期病院での治療後、病状が安定し始めた時期に集中的なリハビリテーションを行うことで、低下した能力を再び獲得するための病棟を回復期リハビリテーション病棟と言います。

当グループでは九州・山口・関東地区で22施設(急性期病院の中に回復期リハビリテーション病棟を有する施設を含む)、3,500床を超える回復期病床数を有し、リハビリセラピスト(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)も

総勢3,800人を超え、回復期リハビリテーションでは日本最大規模のグループです。

365日、一日も休まずリハビリテーションを提供し、機能の回復や日常生活に必要な動作の改善を図り、寝たきり防止と社会や家庭への復帰を目指した患者さまごとのリハビリテーションプログラムとサポートで、非常に高い在宅復帰率を誇っています。

名称の由来

池友会

創設者である蒲池眞澄から【池】の一文字を、【友】は周りに集まった人々を表し命名されました。

昭和49年に今日の池友会グループの礎となった下関カマチ医院を開院以来、九州・福岡を中心に急性期・回復期病院を展開。学問的に、技術的に高い水準の医療を提供し、患者さまと医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者さまのニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

巨樹の会

平成20年3月、故・緒方幸光理事より命名されました。

『矢部川のほとりに巨樹となる一粒の「種」は生まれた。その一粒の種は、やがて苗となり幹を作り青年期から熟年の月日を過ぎ、更に年輪を重ね、今この大空に聳え立つ巨樹となった。更なる巨樹に向かって大空へその輪を広げ、世の傘、人の傘と成っていく為に優しい心を持って日々、切磋琢磨し人々の尊敬の眼差しとなり、基本を忘れず大地に張った巨根と共に樹齢を刻み、いつしか巨樹の声々に我を教え慎みながら、やがていつかは「主」も巨根に芽生える水を満ちた苔となるも「主」が築いた歴史の扉に正義の精神を受け継いだ後世達で、後の世に栄え茂り、世の中のために成り続けるだろう。』

健診からリハビリまで総合的にサポート。
チーム医療で地域社会に貢献。

福岡和白病院

(急性期・回復期病院)

〒811-0213
福岡県福岡市東区和白丘2丁目2番75号
TEL:092-608-0001 <https://www.f-wajirohp.jp>
病床数:369床 職員数:約1,130名

福岡和白病院は、昭和62年7月開院以来、地域の中核病院として、一貫して24時間365日の救命救急に対応し、高度先進医療の充実を図ると共に、「患者さまと共に生きる」チーム医療体制作りに取り組んでまいりました。

平成17年4月に、新病院として現在の地に移転、平成22年4月には、救急医療及び災害医療において、公益性の高い民間病院として、社会医療法人財団の認定を受けました。

また、平成23年10月に、血管病に携わる診療科が一つのチームとして活動出来るよう、「心臓・脳・血管センター(HNVC)」を開設、平成24年には、診療報酬改定に伴う医療機関群の導入により、大学病院(全国でおおよそ80施設)に準ずる施設である、DPC病院Ⅱ群(全国でおおよそ90施設)に選定されるなど、活発な診療を行っています。



より充実した医療ステーションを目指して。

新行橋病院

(急性期・回復期病院)

〒824-0026
福岡県行橋市道場寺1411番地
TEL:0930-24-8899 <https://www.shinyukuhashihospital.or.jp>
病床数:246床 職員数:約650名

新行橋病院は、地域住民の皆様の強い要望により、平成9年12月に149床の救急病院として開設されました。

平成12年10月に8階建ての新病院へ移行し、マルチスライスCT、MRI、血管撮影装置(DSA)、核医学診断装置(RI)、ESWL等の高度医療機器を導入、現在は246床の急性期病院として、年間約4,000件の救急車搬入を受け入れ、救命救急医療・高度医療に取り組んでいます。

また、平成22年4月に地域医療支援病院、同年5月には災害拠点病院に認定、さらに平成23年8月にはヘリポートを新設し、名実ともに行橋市・京築地域の基幹病院としての役割を担っています。



医療の原点である
「患者様中心の医療」を貫き通します。

新小文字病院

(急性期病院)

〒800-0057
福岡県北九州市門司区大里新町2番5号
TEL:093-391-1001 <https://www.shinkomonji-hp.jp>
病床数:214床 職員数:約740名

新小文字病院は、昭和56年9月に北九州市小倉北区大島に小文字病院として開設し、平成20年1月に同市門司区大里新町に新築移転いたしました。この間、地にしっかりと根を下ろし、職員一丸となって救急医療をはじめ急性期医療に真に向かい取り組んで参りました。その結果、着実に信頼を得つつあると実感いたしております。地域のすべての人々から、「健康のことは新小文字病院が守ってくれる。だから、安心して暮らせる」と言ってもらえるような良い病院を創る、それが私たちの夢です。新小文字病院は地域の皆さまに頼りにされ、さらに皆さまのお役にたてる病院を目指しております。私たちは皆さまの健康の番人になりたいと思っています。そして、良い病院を育てるために、皆さまの知恵と力をお貸しください。

当院は最新の医療技術や高性能の機器を備えて、これを存分に利用して“患者さまにとって”を考えて行動し、皆さまと連携して、住みやすい豊かな街づくりに貢献したいと考えています。



地域に密着した
“身近な医療機関”を目指します。

福岡新水巻病院

(急性期病院)

〒807-0051
福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目2番1号
TEL:093-203-2220 <https://www.f-shinmizumaki.jp>
病床数:227床 職員数:約740名

福岡新水巻病院は、遠賀・中間・北九州西地区の急性期疾患に対応できる病院として平成15年6月に開設致しました。高度医療機器を備え、二次・三次の救急や重症患者に対応すべく、救命救急体制を備えております。現在では、年間6,300件を超える救急を受け入れる病院となりました。又隣接する看護助産学校の教育に力を注ぎ、数多くの看護師・助産師の排出の一助を担っています。

地域の医療機関との連携の推進、学術講演会の開催、救急救命士の研修受け入れを行っており、人間ドックでの予防から重症患者にも対応し、近隣の医療機関との連携により在宅復帰及び社会復帰に全力で取り組んでいます。いつでも誰でも安心して利用できる地域密着型の基幹病院として運営しています。



患者さまが、ふたたび、いきいきと楽しい生活を送れるようサポートします。

香椎丘リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒813-0002
福岡県福岡市東区下原2丁目24番36号
TEL:092-662-3200 <http://www.kashii-rh.net>
病床数:120床 職員数:約260名

香椎丘リハビリテーション病院は、急性期の医療機関で原因疾患の治療を終了した患者さまのリハビリテーションを実施する回復期リハビリテーション病院として、平成15年8月1日に開設されました。対象は、脳血管疾患と骨折などの整形外科疾患が中心で、その他は廃用症候群などです。病院は、玄海国立公園にも指定される三日月山の麓に位置し、自然豊かで癒しのある環境で、特に福岡市街を一望できるウッドデッキからの景観は絶景です。そんな療養環境の中、調和のとれたチーム(医師・看護師・リハビリスト・MSW等)で、365日のリハビリ・看護を提供し、患者さまの寝たきりゼロ、在宅復帰・社会復帰を目指しております。入院当初から退院に向けて綿密に計画し、介護保険及び身体障害者手帳の利用法、社会資源の活用、ケアマネージャー、かかりつけ医との連携を行い、地域医療連携にも積極的に取り組んでいます。



北九州市で最も人口が多い八幡西区に開設地域医療に貢献していきます。

青山リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒806-0043
福岡県北九州市八幡西区青山1丁目7番2号
TEL:093-642-0070
病床数:50床 職員数:約90名

令和5年4月に北九州市の中で最も人口が多い八幡西区の閑静な住宅街にある外科病院より業務を引き継ぎ、新たに回復期リハビリテーション病院として開設しました。病床数は50床で部署ごとの垣根を越えてチーム医療を展開する家族的な暖かみのある病院です。

当院は、充実したスタッフによる、患者さま一人ひとりにあった質の高いリハビリテーションを365日途切れることなく提供し、ADL(日常生活活動)・QOL(生活の質)の向上を図り社会復帰を目指して頂く施設です。地域の方々に信頼される病院となるよう近隣病院との連携を密にして、職員一同全力で地域医療に貢献してまいります。



がんの早期発見、そして治療へ。

福岡和白PET画像診断クリニック

〒811-0213
福岡県福岡市東区和白丘2丁目2番76号
TEL:092-608-1166 <http://www.fwpet.net>
職員数:約21名

福岡和白PET画像診断クリニックは平成16年4月1日に開院しました。

当院は、最新のPET-CT装置を設置し、高度な総合画像診断を担うPETクリニックとして皆さまのお役に立ちたいと願っています。



笑顔と真心でより質の高い総合健診をめざす。

福岡和白総合健診クリニック

〒811-0213
福岡県福岡市東区和白丘2丁目11番17号
TEL:092-608-0138 <http://www.fw-kenshin.net>
職員数:約140名

お客さまの快適な生活が今後も維持できるように、お客さまの将来のために。福岡和白総合健診クリニックは、「笑顔と真心でより質の高い総合健診をめざす」ことを基本理念としています。



患者さま本位の質の高い医療を
24時間・365日、提供してまいります。

新武雄病院

(急性期・回復期病院)

〒843-0024
佐賀県武雄市武雄町大字富岡12628番地
TEL:0954-23-3111 <https://www.shintakeo-hp.or.jp>
病床数:195床 職員数:約650名

新武雄病院は、平成22年に武雄市立武雄市民病院から民間移譲を受け開院しました。武雄市がこれまで果たしてきた役割を引継ぎ、地域に貢献できる医療の提供を目指しています。

また、平成29年4月に大町町立病院の移譲を受けました。地方自治体立病院の移譲は、法人として今回で2回目となります。

そして今回、移譲を受けた病床は同年9月より回復期リハビリテーション病棟として運用を開始します。

今後も私たちは、移譲を受けた病床を活用して更に地域に貢献できる医療を提供して参ります。



在宅復帰に徹した
回復期リハビリテーション。

八千代リハビリテーション病院

(回復期病院)

〒276-0015
千葉県八千代市米本1808番地
TEL:047-488-1555 <https://www.yachiyo-reha.com>
病床数:240床 職員数:約470名

リハビリテーション本来の目的は「生活の再建」にあり、訓練室だけではなく「生活の場」である病棟における訓練も重要です。身体的な「機能」を改善するだけでなく、あらゆる想定での動作の練習をすることを中心に、起きて過ごす習慣化と生活の中での活動の習慣化をサポートしていきます。住み慣れたご自宅への復帰・職場復帰を目標に患者さまの幅広い生活に応じた訓練を提供します。



地域に寄り添い、地域と共に。

下関リハビリテーション病院

(回復期病院)

〒750-0064
山口県下関市今浦町9番6号
TEL:083-232-5811 <https://www.shimoreha.jp>
病床数:165床 職員数:約350名

少子高齢化が進んでいる現代では、加齢とともに増加する脳卒中や骨粗しょう症による大腿骨頸部骨折などが日常生活を脅かす要因として挙げられています。

そんな状況の中、入院生活を余儀なくされた患者さまがより早く日常生活に戻れるようにお手伝いするのが、私たち下関リハビリテーション病院職員の役割です。リハビリテーションスタッフ数は県内でもトップクラスの数を誇り、ゆっくり丁寧なリハビリが行えます。当院は全ての病棟スタッフと連携を図ることで、寝たきり・寝かせぎりの患者さまがいない病院です。地域医療の一翼を担えるよう努めています。



東京湾を望むリハビリテーション病院。

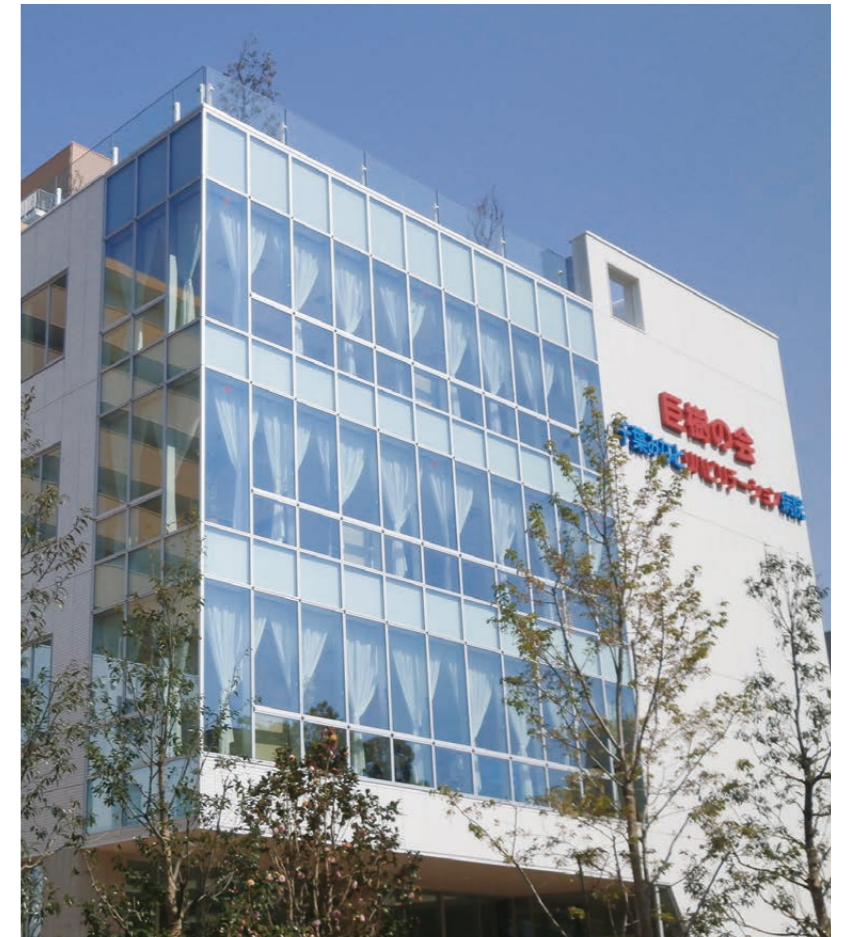
千葉みなとリハビリテーション病院

(回復期病院)

〒260-0024
千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
TEL:043-245-1555 <https://www.minato-reha.com>
病床数:180床 職員数:約400名

当院は平成26年4月にオープンした、元気なリハビリテーション病院です。千葉市の湾岸部に位置している為、屋上からは富士山を望むことができ、開放的な環境でリハビリを行っています。当院の特色の1つに、運転シミュレーターやボルダリング、防音の作業室、在宅復帰シミュレーションルーム、パターゴルフなど幅広い患者さまに対応できる設備・体制があげられます。加えて、少量頻回のリハビリ介入や季節ごとのコンサートなどのレクリエーションによる、日中の離床・活動時間の確保により、平成26年度の開院から約92%の患者さまが在宅復帰をされています。

地域医療の中で不足しているリハビリテーション医療の一翼を担うため、医療の質向上と近隣病院との連携強化を図り、千葉県民の皆さまに高度なリハビリテーション医療を提供して参ります。



限りある病床数を最大限に利用した
回復期リハビリテーション。

松戸リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒270-2232
千葉県松戸市和名ヶ谷1009番地の1
TEL:047-703-1555 <https://www.matsudo-reha.com>
病床数:180床 職員数:約360名

平成26年4月にオープンした関東巨樹の会11番目の病院です。

千葉県でも回復期における低リハビリテーション地域の東葛北部医療圏。

なかでも人口約50万人の松戸市において180床の病院であり、「365日最大限のリハビリテーション」「日常生活の活動性向上」を方針に掲げ、患者さまごとのプログラムに基づきチーム医療で取り組んでおります。

また、訪問リハビリ、通所リハビリも行っております。



宇都宮で10年以上の実績を誇る
回復期リハビリテーション専門病院。

宇都宮リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒321-0982
栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43番2号
TEL:028-662-6789 <https://www.utsunomiyarh-hp.jp>
病床数:96床 職員数:約200名

栃木県は、全国の中でも脳卒中の発症率が高く、発症後のリハビリテーションの必要性も非常に高い地域です。私達は、その中でも中核都市である宇都宮市で10年以上の実績ある回復期リハビリテーションの専門病院として、回復期医療の中心を担うべく、スタッフ一丸となってリハビリテーション医療に取り組んでいます。

患者さまや地域に信頼される病院であり続けられるよう、今後も変わらず努めていきます。



整形外科とリハビリ機能を兼ね備え
一貫した医療を提供。

新上三川病院 (急性期・回復期病院)

〒329-0611
栃木県河内郡上三川町上三川2360番地
TEL:0285-56-7111 <https://www.kaminokawa-hp.jp>
病床数:209床 職員数:約500名

急性期(整形外科)病棟38床、回復期リハビリテーション病棟171床から成り、整形外科とリハビリテーションに注力した病院です。

回復期リハビリテーション病棟では、整形外科や脳血管疾患等の患者さまの在宅復帰を目標に、スタッフ一丸となりサポートさせて頂いており、令和5年度は96.2%の方が在宅復帰されています。

また、整形外科においては、平成28年より関節センターを開設し、関節の痛みでお困りの患者さまに対して、急性期治療からその後のリハビリまで、一貫した高水準の医療提供に努めております。

“人と人、心と心”を合言葉に、すべての職員が誇りと自信をもって楽しく働ける環境をつくり、地域社会と患者さまから信頼される病院を目標としています。



北関東最大のリハビリテーション病院
充実した医療の提供を目指します。

新宇都宮リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒321-0941
栃木県宇都宮市東今泉2丁目5番31号
TEL:028-666-4880 <https://shin-utsunomiya.jp>
病床数:240床 職員数:約480名

令和2年10月に、在宅復帰を目標として開設された第2宇都宮リハビリテーション病院は、令和4年9月に、宇都宮駅東口東今泉の新病院に移転し、第2宇都宮リハビリテーション病院から『新宇都宮リハビリテーション病院』へと生まれ変わりました。

新病院では、常勤医師10名、常勤歯科医師1名、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士約220名、看護師約120名をはじめ、管理栄養士、薬剤師、社会福祉士等々を中心とした総勢約480名による『多職種連携』を合言葉に、様々な機能障害に対応できる体制を整えております。

『365日』休むことなく専門的な『リハビリテーション医療』を提供することはもちろん、急性期病院で治療された原因疾患に対する治療の継続、そして改善にも注力し、北関東最大の回復期リハビリテーション病院として、宇都宮市内のみならず栃木県、北関東の地域医療に貢献する病院を目指しています。



埼玉県北部の皆さまから高い信頼を得られるよう“断らない病院”を実現します!

新久喜総合病院

(急性期・回復期病院)

〒346-8530
埼玉県久喜市上早見418-1
TEL:0480-26-0033 <https://www.shinkuki-hp.jp>
病床数:391床 職員数:約1,200名

新久喜総合病院は、平成28年4月1日に埼玉県厚生連農業協同組合連合会より移譲され、新たに『24時間365日体制で“断らない病院”』として生まれ変わりました。

当院は、埼玉県北東部の利根医療圏の真ん中にあります。救急車は1日に20件、年間6,000件を超える数を受け入れ、心臓疾患、脳卒中、外傷、がんなどの急性期医療をはじめとして対応する疾患は幅広く、活発な診療を行っています。

また積極的なリハビリテーションにより早期社会復帰を目指し、検診や健康教室にも力を入れています。

地域の医療の質向上に向け全力で取り組み、地域の皆さまの『困った』が、少しでもなくなるように努めます。



人を思いやる気持ちで、24時間・365日患者さまとともに取り組んでいきます。

明生リハビリテーション病院

(回復期病院)

〒359-1106
埼玉県所沢市東狭山ヶ丘4丁目2681番2号
TEL:04-2929-2220 <https://www.meisei-reha.jp>
病床数:120床 職員数:約250名

明生リハビリテーション病院は、脳卒中で片麻痺や言語障害等の障害、整形疾患、肺炎等の廃用の患者さまが1日でも早くご自宅や社会へ復帰できるよう、365日リハビリテーションを提供する『回復期リハビリテーション専門』病院です。

当院では、患者さまのADL(日常生活活動)能力を向上させ、QOL(生活の質)を支援するリハビリテーションを提供する為に患者さまの思いや、不安に耳を傾け、医師を始め、看護師、医療技術者等多職種が協力し合い、其々の患者さまにあったプログラムでリハビリテーションを提供します。チーム医療の大切さについても学べる病院です。



志は高く 敷居は低く 懇切丁寧に



所沢美原総合病院

(急性期病院)

病床数:221床 職員数:約630名

24時間365日 断らない救命救急医療をモットーに、地域の皆さまに愛され、信頼される病院を目指して

2023年11月25日に所沢明生病院(50床)と狭山中央病院(111床)が合併し、所沢美原総合病院が新規開院いたしました。母体の2病院で年間5,000件余りの救急搬送を受け入れてきましたが、病床数、専門医数や医療設備の問題などから救急搬送依頼を断らざるを得ないことも多々あり、忸怩たる思いで過ごしていました。そのため新病院では、高度

急性期24床(ICU8床、HCU16床)を含む221床の急性期病床を確保し、各専門医の拡充、高度最新医療機器の導入を行い、断らない救命救急医療の実践と医療の質の向上を目指してスタートを切った次第です。「志は高く 敷居は低く 懇切丁寧に」の基本理念のもと、断らず、質の高い医療を提供できるように職員一丸となって日々努力してまいります。

お問合せ先

〒359-0045
埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3

04-2997-8199

URL <https://tmgh.jp>



- 24時間365日 断らない救急がモットー
- ハイブリッド手術室をはじめ 充実の手術環境
- ICU8床、HCU16床、手術室7室を運用
- 放射線治療機器リニアック導入予定
- 手術支援ロボット『da Vinci』の導入

「信頼される、地域に根差した総合病院」をめざして。

東京品川病院

(急性期・回復期病院)

〒140-8522
東京都品川区東大井6丁目3番22号
TEL:03-3764-0511 <https://tokyo-shinagawa.jp/>
病床数:440床 職員数:約1,180名

地域の基幹病院として、今までの内科系の強みに加え、脳神経外科、脊髄脊椎外科、乳腺甲状腺外科、血管外科といった外科系の体制も整え、さらにHCU(ハイケアユニット)を新設し救急医療を強化しています。24時間365日、土日や夜間でも緊急手術に対応できるような体制を実現しております。

新たに回復期リハビリテーション病棟も設置し、急性期治療後の十分なリハビリテーションを行い、在宅復帰を目指しています。

予防医学として健診センターの機能を充実させ、人間ドックでの早期発見・早期治療に注力し、皆さまの健康と生活を守りたいと考えております。

現在では、パースセンター(産科病棟)・緩和ケア病棟の新設と放射線治療(がん治療)を開始しております。

また、都内に5台という希少な高気圧酸素治療装置をスポーツ整形や皮膚科領域で活用してきましたが、現在は突発性難聴や一酸化炭素中毒、減圧症など救急的疾患へも積極的に活用しております。

これまで以上に地域の医療機関、介護福祉機関、行政機関との連携の充実を図り、地域に根差した病院として今後も取り組んでまいります。



若者の街「原宿」にそびえたつ回復期リハビリテーション病院。

原宿リハビリテーション病院

(回復期病院)

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前6丁目26番1号
TEL:03-3486-8333 <https://www.harajuku-reha.com>
病床数:332床 職員数:約680名

平成27年4月、東京原宿の一等地に回復期リハビリテーション病院を開院致しました。

許可病床数は、332床で回復期リハビリテーション病院としては日本最大級を誇ります。

アクセスは、JR「原宿駅」から徒歩8分、東京メトロ「明治神宮前駅」より徒歩4分という好立地に位置しています。病院建物は地下2階、地上11階建て。病棟は7病棟、病室はシックなデザインでゆったりとしたスペースを確保し、快適な入院療養生活を送っていただけるように配慮致しました。病棟からは富士山、新宿高層ビル街、代々木公園、東京タワー、東京スカイツリー等が望めるロケーションで患者さまから絶賛の声をいただいています。また、リハビリ訓練室は1フロア全面を占め、明るく開放的な空間でリハビリを行っていただきます。

在宅復帰率90%を超える実績とノウハウを活かし24時間・365日リハビリを提供し、患者さまの在宅復帰、社会復帰へのお手伝いをさせていただきます。



東京駅から東に7km、利便性高く緑あふれる江東区で地域医療を目指します。

江東リハビリテーション病院

(回復期病院)

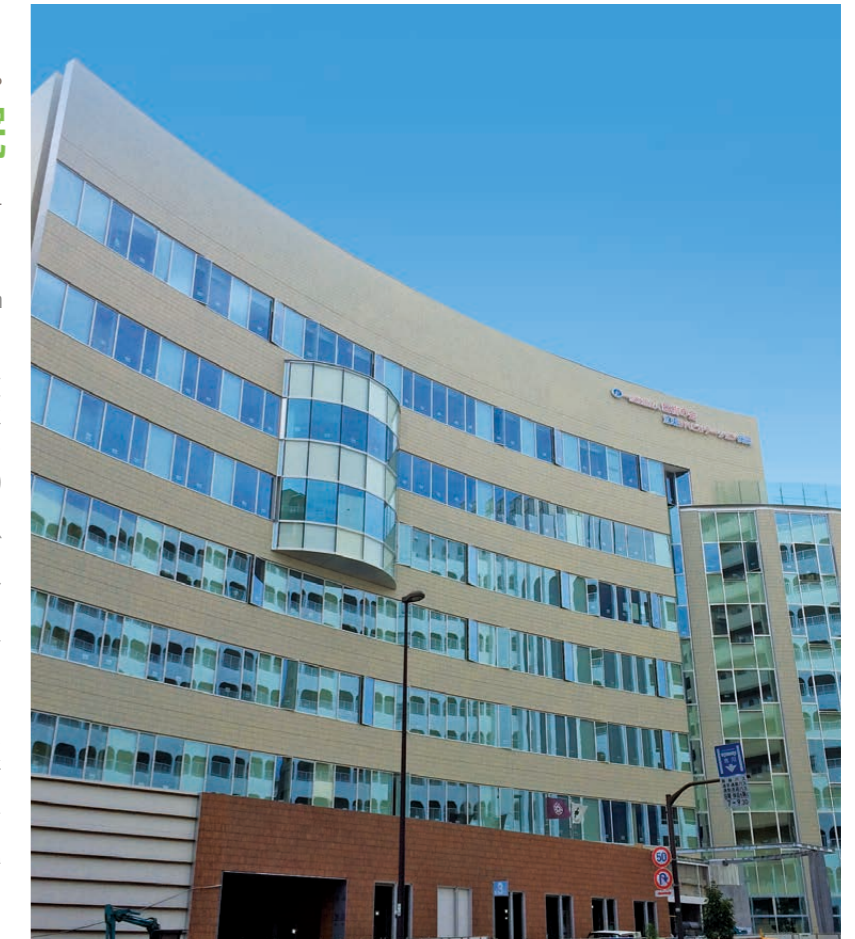
〒136-0073
東京都江東区北砂2丁目15番15号
TEL:03-6880-1555 <https://www.koto-reha.com>
病床数:300床 職員数:約560名

東京の下町情緒と副都心としての機能が混在する区東部医療圏(人口140万人)に、平成29年10月、206床の回復期リハビリテーション病院を開院しました。令和元年6月に増床し、現在は300床です。

当地域における、10万人あたりの回復期リハビリテーション病床は、12.5床と全国平均の20%しかありませんでしたが、当院開院により51.1床となりました。365日断らず継続した治療を行い、患者さまの早期在宅復帰に向けた支援をさせていただきます。

病棟や屋上のリハビリテーションガーデンからは、東京湾や東京スカイツリーが眺望でき、最新の設備とゆったりとした病室は、患者さまにきっと満足していただけるものと思います。

また、JR総武線「亀戸駅」から車で6分、都営新宿線「西大島駅」から徒歩8分、都営バス「北砂三丁目」から徒歩3分ですので、アクセスも大変便利です。



JR山手線五反田駅徒歩8分の
都心部に開設!

五反田リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒141-0031
東京都品川区西五反田8丁目8番20号
TEL:03-3779-8820 <http://www.gotanda-reha.com>
病床数:240床 職員数:約500名

リハビリテーション指導医をはじめ、多職種が一丸となってチーム医療を行っております。当院の大きな特徴の一つとして、JR山手線五反田駅から徒歩8分の利便性の良さがあげられます。また、屋上に構えた庭園でガーデニングや家庭菜園も行っており、都会でありながら四季を感じつつリハビリテーション訓練を行います。



地域に貢献できる病院として。

小金井リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒184-0013
東京都小金井市前原町1丁目3番2号
TEL:042-316-3561 <http://www.koganei-rh.net>
病床数:220床 職員数:約400名

当院は、平成24年5月、回復期リハビリテーション病院として北多摩南部医療圏にオープンしました。病院敷地面積は1,700坪、周りには多くの都立公園があり、自然豊かな環境です。電車とバスのアクセスがよいうえに、広い駐車場を有しているので車で来院も容易です。元々は北多摩南部医療圏に回復期病棟が少なかったため、急性期から直接家に帰ることが難しい方の受け入れ先が不足していました。そのような方々にリハビリを提供できる場として、当院を開院いたしました。年間約1,000人の脳血管疾患、整形外科疾患、廃用症候群の患者さまに移動、ADL、嚥下、コミュニケーションなどのリハビリを提供し、在宅復帰、復職支援を行っています。MELTz、バイタルスティムなどの機器やワークサンプル幕張版といった教材なども使用し、患者さまのニーズに沿った訓練内容を立案しています。今後も地域の病院、施設と連携し、皆さまにより良いリハビリを提供できるよう精進してまいります。



医療の中心は患者さま。患者さまにいつも寄り添いサポートできる医療を目指して。

赤羽リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒115-0055
東京都北区赤羽西6丁目37番12号
TEL:03-5993-5777 <https://www.akabane-rh.jp>
病床数:240床 職員数:約480名

当院は、平成25年4月に開院した回復期リハビリテーション専門病院です。東京都区西北部医療圏に位置しており、すぐ傍には味の素ナショナルトレーニングセンターがございます。当院では、充実したスタッフによる質の高いリハビリを365日途切れることなく提供しています。入院患者さまは地元である北区、板橋区の方が約60%を占めており、その他では川口市など埼玉県では約20%、東京都23区の方が約15%となっております。それらを加えて、全国各地の医療機関さまよりご紹介頂いております。また、都営三田線本蓮沼駅より徒歩約6分、他にはJR赤羽駅よりバスで約10分と、アクセスしやすい便利な立地となっております。



安心・良質な医療とリハビリテーションの提供で地域貢献を。

蒲田リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒143-0015
東京都大田区大森西4丁目14番5号
TEL:03-5767-7100 <https://www.kamata-rh.net>
病床数:180床 職員数:約300名

当院は、平成23年5月に開院いたしました。以来、多くの患者さまに必要とされ、リハビリテーションの効果を実感していただき、令和2年度には93.9%の方が在宅復帰されています。開院当初の148床から2度3度の改装・増築を経て、平成25年10月25日には180床となり、より多くの患者さまにリハビリテーションを提供する体制を整備しました。当院の役割は、主に大田区、品川区、川崎市、横浜市など東京都、神奈川県を中心とする地域の皆さまに、回復期リハビリテーション専門の病院として皆さまの在宅復帰のお手伝いをする事であると考えます。地元急性期病院、開業医の先生方との連携を密にとらせていただき、地域の皆さまに安心・良質なリハビリテーション医療を提供し、地域に貢献していきたいと思っております。



患者さまの社会・在宅復帰のお手伝いをいたします。

みどり野リハビリテーション病院 (回復期病院)

〒242-0007
神奈川県大和市中央林間2丁目6番17号
TEL:046-271-1221 <https://midorino-hp.jp>
病床数:136床 職員数:約300名

当院は、神奈川県中部部に位置していません。最寄駅の中央林間駅(東急田園都市線・小田急江ノ島線)へは徒歩6分で都内へは電車で40分圏内と非常に利便性が高いです。

当院は、平成22年9月に回復期リハビリテーション病棟を開設しました。対象となる患者さまの1日24時間365日の生活を考えた広義のリハビリテーションを行っています。退院後できるだけ長くその人らしい生活を継続していくためのリハビリテーションを行っています。



一人ひとりに、寄り添った治療を。どんなお悩みでも、まずはご相談ください。

よしき銀座クリニック

〒104-0061
東京都中央区銀座8-9-1
銀座中央通りMMビル4~7階(受付:6階)
TEL:03-6280-6880 <https://yoshiki-clinic.com>

どんな医療でも、医療者と患者さまがともに力を合わせて、はじめて実を結ぶものです。

よしき銀座クリニックでは、24年間の経験に基づく院長の丁寧なカウンセリングをまずは行い、一人ひとりのお悩みに合わせた治療をご提案してまいります。

最先端のレーザーなどを用いた治療や美容外科手術のご相談のほか、日々のスキンケアのご相談も承ります。美容内科や栄養相談・点滴・エクササイズなど、からだの中から美と健康を目指すプログラムもご用意しています。

内面からの治療と一緒に考え、一緒に解決し、真の美しさとともに、心とからだの健康を目指してまいります。



学校法人巨樹の会

現場のニーズに応えられる、
看護・リハビリテーションのプロを育てる。



作業療法学科

OCCUPATIONAL THERAPIST

概要

作業療法学科では、解剖学・生理学・心理学に加え、作業療法の評価学・治療学など専門的な知識・技術を学び、人の機能・行動・生活を理解して、心身の機能回復から生きていく力の回復まで、病院から地域・在宅まで、幅広く社会で活躍できる作業療法士を育てていきます。

職種紹介

こどもからお年寄りまで、日常生活動作から仕事や趣味まで、人の生活に必要な作業活動の回復を考えて、適切な治療・援助を行う専門職、それが「作業療法士」です。作業療法士は、身体機能の治療、回復した機能に応じた生活動作(食事、更衣、家事、仕事など)の獲得、さらに思考や判断などの考える力、意欲やストレスへの対処などの心の側面にも治療・援助を行います。身体機能に加えて、作業活動の理解や取り組む姿勢、周囲との対人関係なども医学的な評価・分析を行い、人の身体・心・頭脳の専門的リハビリを進めて、総合的な行動・生活機能の回復を目指します。

理学療法学科

PHYSICAL THERAPIST

概要

理学療法学科では、最新の医療設備をもったグループ病院の協力を得て、理学療法士として必要な知識・治療技術の修得を行います。また、学内・学外における人的交流を通じ、「思いやる心・感動する心」を大切にして、自らを律し、協調性を持った人間性豊かな医療人の育成を行っております。

職種紹介

病気や怪我などで心身に障害を持った方々や、そのおそれのある方々に対して、身体と心の両面から治療や援助を行う専門職、それが「理学療法士」です。理学療法士は、関節の動きを良くし、筋力をつけ、歩く練習などを中心として、日常生活活動能力の回復を目指す「運動療法」と温熱・水・電気・光線などを用いて、痛みや血行を改善させる「物理療法」などによって治療を行います。近年は在宅生活を支える地域リハビリテーションや生活習慣病の予防・コントロールといった保健福祉分野、さらにはスポーツ医学の分野など幅広い分野で理学療法士が活躍しております。

看護学科

NURSE

概要

看護学科では、講義・演習・実習・教科外活動を充実させ、教育に取り組んでいきます。また、知識・思考・行動というステップを踏み、着実な看護職者としての成長を支援します。病める人、健康な人々またその家族をサポートできる人材を育て、地域・社会に貢献できる看護師の育成を目指します。

職種紹介

療養中の患者または褥婦に対して、その症状に応じて行う医学的知識を必要とする世話をしたり、医師又は歯科医師が、患者を診断治療する際の補助行為を行う専門職が「看護師」です。医療従事者の中で、患者と接する時間が最も長く、点滴や注射、食事・排泄の援助、体位交換、記録、巡回、ベッドメイキングなどはもちろん、患者の症状を正確に把握し、医師に報告を行います。患者だけでなく、その家族を含めた看護を行います。高度化する医療体制の中、医療チームの中で重要な役割を果たします。

助産学科

MIDWIFE

概要

助産学科では母親が本来持つ「産む力」を最大限に活かすことができる助産師の養成を目指しています。情報化社会を生きる現代では、母親自身が「産む力」を上手に出せなくなりました。母親の「産む力」を感じる心を研ぎ澄まし、古くからの歴史を持つ助産の知識と技術を学びます。母になる女性の傍らで、家族の形成をみつめることができる助産師を目指しています。

職種紹介

助産師は妊娠中や出産時、産褥期(さんじょくき)に健康管理や食事、運動などの生活指導やアドバイスを送り、正常分娩時に出産の介助として助産を行う専門職が「助産師」です。分娩、出産後も体調管理や母乳指導、乳児指導など、妊娠から出産、育児に至るまでの一連の流れを指導します。妊婦は自分の体や、おなかの中の赤ちゃんについて不安を抱えていることが多く、妊娠が原因で体調を崩す人もいます。そんな妊婦の気持ちに寄り添い、話に耳を傾けることで、妊娠・出産に対する不安を取り除くのも助産師の仕事です。



健康な未来を 令和健康科学大学

〒811-0213 福岡市東区和白丘2丁目1番12号 TEL:092-607-6701 (代表)

学部学科・定員数

看護学部 看護学科 定員80名
リハビリテーション学部 理学療法学科 定員80名
リハビリテーション学部 作業療法学科 定員60名

令和健康科学大学は、令和4年4月に開学した新しい大学です。本学は平成2年4月開校の福岡看護専門学校と平成19年4月開校の福岡和白リハビリテーション学院の教育理念である「人間愛・自己実現」を引き継ぎ、深い教養と倫理観、探究心ならびに実践力を兼ね備えた医療専門職を養成する大学として、福岡市東区和白丘に新たに設置されました。

看護学部看護学科では、最新の医療機器、設備を配置したシミュレーションルームなどの実習室で学び、高い倫理観を土台にして、科学的根拠に基づく知識と専門的な実践力を身につけ、生涯にわたり健康の担い手となる看護のプロを育成することを目標としております。

リハビリテーション学部理学療法学科では、運動療法・物理療法などの治療介入手段を用いて体力と健康の維持および向上を図り、対象となる人々が望む生活をバックアップするために必要な医学と障害学

の知識や技術を修得できます。地域に貢献できる理学療法士を育成することを目標としております。

リハビリテーション学部作業療法学科では、あらゆる作業を通して、心身機能の回復を図り、対象となる人々の望む生活をバックアップするために必要な医学知識や技術を修得し、地域に貢献できる作業療法士を育成することを目標としております。

大学の特長として、1~4年次まで一貫した「専門職連携教育(IPE)」と、ICTをフルに活用した効率的かつ効果的な教育が挙げられます。さらに創設者の「すべての人に対して、24時間365日、患者のための医療を行う」との思いを基本として、救命救急に対応する福岡和白病院をはじめ、多くのグループ病院を中心とする実習施設の協力を得て、高度な最先端の医療から地域医療まで、幅広い実習を行って参ります。

お問合せ先 092-607-6701 (代表) somu@rhs-u.ac.jp



~一人ひとりの個性や強みを活かした教育~

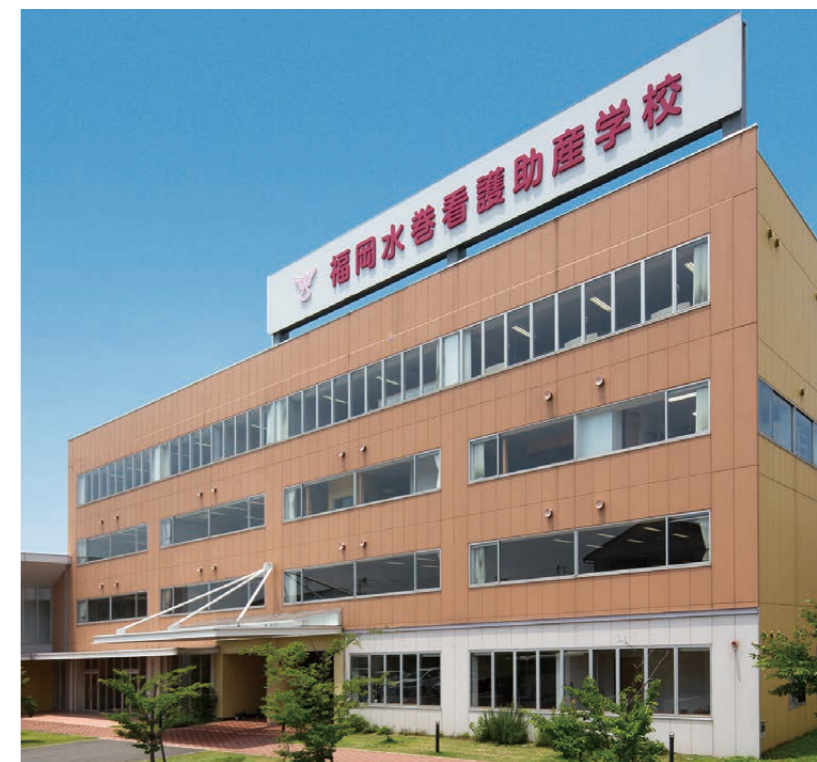
福岡水巻看護助産学校

〒807-0051
福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目14番51号
TEL:093-201-5233 <https://www.kango-mizumaki.jp>
学科・定員数:看護学科(3年課程) 80名/助産学科(1年課程) 16名

平成20年4月「人間愛・自己実現」を教育理念に掲げ、看護学科1学年80名で「福岡看護専門学校水巻校」として開校。平成23年4月には、助産学科を併設し、「福岡水巻看護助産学校」に改称しました。しかし、助産学科は分べん件数の減少や助産師教育の大学・大学院化が進み、専門学校としての教育体制の継続が困難な状況となり、令和6年度入学生の受け入れを以って、学生募集を停止いたしました。また、学校法人の運営としては日本で初めての助産院「みずまき助産院ひだまりの家」での助産師教育を実施してきましたが、助産学科閉科と同時に閉院いたします。

看護学科は、福岡新水巻病院に隣接しており、実践的に学べる恵まれた環境にあります。本校の実践的な教育は、関連病院の全面的な協力と支援に支えられています。多くの卒業生が関連病院に就職し、専門士としての最初の一步を踏み出しています。

本校では、学生自身が目標に向かって学び、一人ひとりの個性や強みを活かした支援を行っています。また、地域のニーズに応じた看護師教育に力を入れて日々教育活動を行っております。これから同じ目標に向かって学ぶ仲間として、皆さまのご入学を心より歓迎いたします。



共生 ~共に学び 共に歩み 共に進む~。

小倉リハビリテーション学院

〒800-0206
福岡県北九州市小倉南区葛原東2丁目2番10号
TEL:093-473-8005 <https://kokura-reha.jp>
学科・定員数:理学療法学科(昼間コース) 80名/
理学療法学科(夜間コース) 40名/作業療法学科(昼間コース) 40名

超高齢化社会、医療の進展にともない、医療は「サービス」との位置づけが色濃く、私たち「リハビリテーション分野」も「選ばれる時代」となってきました。本来、「サービス」という言葉の持つ意味は利用者本位でなくてはならず、特に、医療・保健・福祉分野では安全で個性があり、質の高いサービスの提供が相互の信頼を生むものと確信しております。

当学院は医療人・社会人・組織人としての人材育成を目指すべく、知識・技術の向上はもとより、学内生活の指導・教育を充実させ、他者及び社会と協調して活躍できる「人間力」を高めることを重要視しています。また、来るべき臨床実習・国家試験に備え、授業のみならず充実した「科目外プログラム」を設け、学業に専念できる環境を整えております。

私たち小倉リハビリテーション学院はこれからも当学院の教育理念、「共生 ~共に学び 共に歩み 共に進む~」の精神のもと教員一丸となり、社会・地域に貢献できる質の高い療法士の輩出に邁進したいと考えております。



人が好き…
それが看護師・理学療法士への第一歩。

下関看護 リハビリテーション学校

〒750-0025
山口県下関市竹崎町3丁目4番17号
TEL:083-222-0606 <https://www.shimonoseki-reha.jp>
学科・定員数:理学療法学科(3年課程) 80名/
看護学科(3年課程) 40名

下関看護リハビリテーション学校は看護師と理学療法士を育て、社会に貢献できる人材を世に送り出す3年課程の専門学校です。本格的な少子高齢化の進展、疾病構造の変化、医療の飛躍的な進歩など、医療・福祉を取り巻く環境は大きく変化し、多様化したニーズに的確に対応できる資質の高い人材が求められています。

看護師と理学療法士は、病める人やその家族、障害を乗り越えようとしている人々のからだと心の支えになる為に、進歩する現代医療の知識を頭に入れ、日々の修練によって技術を磨き、温かい愛のある心を育てなければなりません。そのためにはまず自分自身の姿勢を正して自立する意志を強くし、人に対して正面を向き手を差し伸べて協力し、社会全体を見渡して広くたくさんの人を見守る心が大切です。

新しい生命が宿る前から後期高齢者までたくさんの方が看護とリハビリテーションを必要としています。自分がどれだけ社会に貢献できるか挑戦し続ける学生に、教育理念の人間愛と自己実現を基に当学校の教職員が誠心誠意教育を行います。啖啄同機、学ぶ意志と教える意欲が充実する熱意ある学校です。



人間性豊かな医療人を育成する
活気ある学校

武雄看護 リハビリテーション学校

〒843-0024
佐賀県武雄市武雄町大字岡岡12623番地
TEL:0954-23-6700 <https://www.takeo-nurse-reha.jp>
学科・定員数:看護学科(3年課程) 40名/
理学療法学科(3年課程) 40名

平成23年4月に開校し14年の節目を過ぎ「夢叶う ころ豊かな医療人になるために」のスローガンを掲げ、「温かい心」「思いやる心」「感謝する心」を持つ人間性豊かな次代を担う医療人の育成に全力投球しています。

熱意溢れた看護学科と理学療法学科の先生方が、最新の設備と機器を備え、明るく活気ある雰囲気の中で学生一人ひとりに懇切丁寧な指導をされています。就職率は11年連続100%を達成し、国家試験合格率も非常に高く、学生の定着率は群を抜いています。

高度な救急医療システムを備えた「新武雄病院」が隣接しており、一年次より実習や講義で病院の先生方や多くの卒業生から、最先端の技術や知識の指導を受けることもできます。

これからも21世紀に大きく羽ばたく看護師と理学療法士を育成するために、全校一丸となりブランド化を図り信頼される学校創りに邁進していきます。



人を愛しみ、共に生きる。

八千代 リハビリテーション学院

〒276-0031
千葉県八千代市八千代台北1丁目1番30号
TEL:047-481-7320 <https://www.yachiyo-reha.jp>
学科・定員数:理学療法学科(昼間コース3年課程) 120名/
理学療法学科(夜間コース4年課程) 40名/
作業療法学科(昼間コース3年課程) 80名

八千代リハビリテーション学院は「人間愛と自己実現」を教育理念として平成16年4月に開校しました。そして、これまで千葉県を中心に東京、神奈川、埼玉、茨城などの関東一円の医療施設・介護施設から求人があり、毎年多くの理学療法士・作業療法士を輩出しています。国家試験対策は学院の歴史と共に洗練され、合格率は高く保たれています。

我が卒業生はリハビリテーション医療の理学療法・作業療法の専門的な知識はもちろん、常に対象者の立場を第一と考え、共に学び・歩み・進みながら相互の信頼関係を築きながら、医師・看護師・介護福祉士・ソーシャルワーカー等とチーム医療の一翼を担っております。そして、対象者が住み慣れた地域社会で「自助」「互助」「共助」「公助」を利用しながら地域社会の一員として暮らせるように支援しております。

10年・20年後の卒業生の将来は更なる専門性を深める研究をし、誰とでもコミュニケーションが取れるように人格を高め、現在を大切に集中力のある指導者に育ってゆくでしょう。手には技術、頭には知識、対象者には愛を!



産む力、生まれる力を大切にしたい。

みずまき助産院 ひだまりの家

〒807-0051
福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目14番50号
TEL:093-201-7731 <https://hidamari-ie.jp>
有床数(定員):6床

地域の中で母と子どもが集える場所の一つになり、出産と育児ができる場所にしたいと運営してまいりましたが、令和6年度をもって閉院する運びとなりました。

助産院は子どもを産む前の準備をする時、産む時、産んだ後に育む時々をその地域で支える場所です。子どもを産んで育むことは、家庭で母親だけが行うものではなく、地域社会で行うことが大切です。産前産後を通じて産婦を助け、女性の一生を支えたと子どもは健やかに育ちます。このような志のもと地域社会に根付いた助産院を目指し、平成22年9月に開院しました。今までに600人を超えるお母さんと赤ちゃんの誕生に携わることができたことに、心より感謝申し上げます。

2024年12月 閉院予定

